

足利の創研

水に溶かし除菌・消臭

次亜塩素酸の錠剤発売

福祉機器開発販売の創研(足利市通2丁目、増山弘文社長、0284・21・3604)は、除菌消臭効果のある次亜塩素酸剤「プリュテック」の錠剤「dc」を発売した。昨年は、インフルエンザの流行で需要が伸びた液剤に比べ、輸送コストが下がり、保存期間も延長。インフルエンザが流行する冬季に向け、販路の拡大を目指す。(山根茂生)



創研が販売する「プリュテック-dc」

輸送費減、保存も長期化

錠剤は水に溶かし、菌液が生成される。ブレード対象物に吹き付けたり、専用の噴霧器で空間に散布したりする。1個(2号)を5リットルの水に溶かすと、塩素濃度50ppmの除菌液が生成される。次亜塩素酸は体内で白血球が作り出す物質で皮膚などに付着しても影響は無く、手指の洗浄などの補助として使用できる。人肌と同

じ弱酸性で、肌荒れの心配も軽減される。増山直人専務は「環境や人体に優しく、強力な除菌消臭能力を発揮する」と話す。

創研は、遠方地や海外などに販売する際の輸送コストを抑えるため錠剤を開発。保存期間も液剤の开封後約半年から約3年に延び、備蓄用としての用途も想定している。必要量だけ小分けに使えるメリットもある。

噴霧器を導入した学校からは、インフルエンザや風邪による生徒の欠席が減少したとの報告があるほか、佐野市田沼町の目黒歯科医院の目黒伸行院長は「インプラントに力を入れていた当院としては、院内機具の除菌や患者の衛生管理に役立っている」と話す。錠

剤は1ケース50錠で1万7850円。

とちぎ経済

下野新聞

2010年8月26日掲載記事

現在はさらに進化した、顆粒タイプの プリュテック-DCを開発いたしました。